

## 第2次島田市総合計画基本構想(まちづくりの「基本理念」 - 「将来像」)の検討

### ○まちづくりの「基本理念」と「将来像」について

- ・基本構想においては、その主意となる、今後のまちづくりにおける基本的な考え方（基本理念）と、将来のまちのあるべき姿（将来像）を示します。

**「基本理念」** : これからのまちづくりを進める上で、基礎となる考え方として定めま  
す。市民一人ひとりが、意識をもって取り組むまちづくりの共通の指針と  
なるものであり、第1次計画の内容を継承します。

**「将来像」** : 新たな計画期間に向けて（8年先を見据える）新設します。

#### 1. 基本理念

ここにしかない「個性」を大切に  
どこよりも「元気」に  
ともに支え合い「協働」して

(内容：第1次総合計画より再掲)

##### ◆ここにしかない「個性」を大切に

大井川や牧之原台地などの自然環境、茶やバラに代表される一次産品、大井川鐵道のSLや川根温泉、田代の郷温泉などの観光交流資源、大井川川越遺跡や蓬萊橋といった歴史・文化資源など、当市にしかない資源を守り、未来に伝えます。

これらの資源を、身近な生活環境の向上をはじめ、産業の活性化や教育・文化活動の振興、市民の健康づくりなど、快適な生活空間づくりやまちの魅力・個性の強化に積極的に活かすことで、この地域だからこそ住みたくなる、いつまでも住み続けたいまちづくりを目指します。

##### ◆どこよりも「元気」に

富士山静岡空港及び東名高速道路、新東名高速道路のインターチェンジといった高速交通拠点や大井川流域の豊かな地域資源を有する地域特性を活かし、人や地域が相互に連携し、呼応しあった相乗効果の高いまちづくりを目指します。

その中で、技術・ノウハウ・知識を結集させ、豊かな水や優れた交通条件などの当市の利点を活かした企業の立地を促し、十分な雇用の場が確保されるよう、産業の活性化を図ります。

地域の魅力・個性を積極的に発信することで、多くの人々が訪れ、にぎわいにあふれるまちづくりを進めます。

こうした取組の中で、新たな元気・活力を呼ぶ若者の定住化を促進し、輝く未来を担う豊かな人材が育っていくまちづくりを進めます。

## ◆ともに支え合い「協働」して

だれもお互いを認め合い、支え合いながら、世代を超えて健やかに暮らせるまちづくりを目指します。

このため、自主的・自発的なコミュニティ活動や市民活動を促進し、市民自らが自らの住むまちをより良くしていこうとする市民主体のまちづくりを進めます。

郷土を愛する思いのもと、市民・事業者・行政それぞれが互いにその特性や役割を理解し、相互の信頼関係に基づく対等な立場で、ともに力を合わせる協働のまちづくりを進めます。

## 2. 将来像

将来像は、総合計画の実行によって将来に向かって目指すべき「島田市のあるべき姿」を明示するものとします。行政職員のみならず、市民や事業者、各種団体・・・あらゆる「島田市民」にとって、イメージしやすく、将来（計画目標期間）への希望やメッセージ性を有した「キャッチフレーズ」として設定します。

## (参考) 第1次島田市総合計画（現計画）に掲げる将来像

- ・島田市と金谷町及び川根町の合併時に定めた「フレッシュ牧之原 ゆうゆう大井川 未来へはばたけ 輝創(きそう)都市」という目指すべきまちの姿や基本的な精神を尊重しつつ、周辺市町の合併等も考慮し、今後、市民・事業者・行政がまちづくりに取り組むにあたって、さらに親しみやすくしたものとして定められました。

人と産業・文化の交流拠点 水と緑の健康都市 島田

第2次総合計画(基本構想)に掲げる島田市の「将来像(案)」

- ・島田市が目指すべきまちの姿をイメージしやすく、将来に向けた希望とまちづくりに向けたメッセージとなる「将来像」を次のとおり掲げます。

「安全 安心 実感都市 島田」

将来像に込めた思い

- ・島田に生まれ、育ち、地域での繋がり、支え合いのもとに住み続けられ、一旦は進学や就職等で島田を離れたとしても、かつての仲間たちと再び過ごしてみたい気持ち呼び起こすまちづくりを目指します。
- ・島田に住んだことがない方でも、暮らすなら島田と思われる、島田に漂うあたたかさ、ゆったりした雰囲気大切に、まちづくりを目指します。
- ・安心して子どもを産み育てられ、子育てするなら島田と思われるまちづくりを目指します。
- ・島田の特性（広域交通条件や固有の歴史・文化資源など）を活かした、賑わいが生まれるまちづくりを目指します。

島田への愛着や誇りを抱きつつ、安全・安心にいきいき過ごしていくことを実感できるまち